



南越前町

# 議会だより

2022.2

Vol.38



建設中の北陸新幹線、在来の北陸線、北陸自動車道と11月完成の上平吹橋など

## Contents

- ② 年頭のご挨拶
- ③-⑥ 12月定例会報告・常任委員会報告  
特別委員会報告・議員定数削減
- ⑦-⑩ 一般質問・主な議会活動報告
- ⑪ 臨時議会報告・上平吹橋の開通
- ⑫ あなたの出番です・編集後記



JRを横断する北陸新幹線の橋脚

# 年頭にあたり



南越前町議会議長

秋田重敏

新年あけましておめでとございます。  
市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこと心からお慶び申し上げます。また、日頃から町議会活動に温かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

議会といたしましては、本年も市民の皆様が安全で安心して暮らせる町づくり政策に対し、全力で支援してまいる所存でございます。より一層、ご願ひ申し上げます。振り返りますと、昨年は新型コロナウイルス感染症による第5波の影響で国内において感染者が大幅に増加し、福井県内においても同様に、今までにない感染者数の増加となりました。

感染者の増加に伴う影響として、

飲食店などに対する営業時間の短縮要請や、他県との往來の自粛強化など、一昨年に引き続き住民生活や経済活動が制限され、さらに医療現場においては、重症者の病床の確保や感染者病床の確保ができないなどの状況でありました。

また、昨年は、コロナ禍の中ではありましたが、東京オリンピック、パラリンピックが開催され、日本選手の大活躍が記憶にも新しいところではあります。

今回のオリンピックには、本町出身の青木千佳選手がフェンシング競技女子サークル部門で個人戦、団体戦に出場されました。個人戦においては、大健闘のすえ敗退となりましたが、団体戦においては5位入賞という輝かしい成績を残されております。

青木選手の活躍に敬意を表し、賛辞を贈りたいと存じます。

一方、昨年も、全国的に前線の停滞などによる豪雨災害によって、日本各地において河川の氾濫、土砂災害が発生しました。本県においても、土砂災害警戒報が発表され、土砂災害の被害が発生しました。

静岡県熱海市での土砂災害など、全国で災害により被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心からご祈念申し上げます。

さて、本町におきましては、明るい出来事としまして、昨年は、今庄宿が重要伝統的建造物群保存地区の選定を受け、河野地区の糠を対象とする地域が重要な文化的景観の選定を受けました。

また、道の駅「南えちぜん山海里」が10月8日にオープンし、町内をはじめ、県内外からも多くの利用者が訪れております。11月18日には、長年待ち望んでおりました町道脇本上平吹線の上平吹橋が完成いたしました。

町政においては、少子高齢化と人口減少が喫緊の重要課題であ

り、対策として若い世代の定住促進に資するよう、宅地分譲などの住宅政策を積極的に行うとともに、市民の多様なニーズに対応した町政の推進を図っていただくよう期待しております。

また、新型コロナウイルスワクチン接種の接種状況については、2回接種済者が約90%に達しており、昨年の12月から医療従事者をはじめとして3回目の接種が始まっております。

この追加接種により、新たに出てきた「オミクロン株」に対しても効果が発揮され、感染の拡大防止につながるよう期待しております。

当議会におきましては、12月定例会において、議員自らが提案し、議員定数を14人から12人に削減する条例改正を行いました。

議員定数の削減により、機能の行使や責務の遂行の障害とならないよう、より一層の研鑽に努め、より効果的な議会運営に努めてまいり所存です。

結びに、令和4年は、市民の皆様にとり、希望あふれる実り多き年になりますことを心より念願いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。



# 12月定例会

12月定例会は、12月10日から17日までの8日間の日程で開催されました。

## 本会議の開催

12月10日に開会し、一般会計や国民健康保険今庄診療所特別会計などの各会計補正予算8議案、過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定など条例に関する3議案、公の施設の指定管理者の指定や過疎地域持続的発展計画の策定、財産の取得にかかわる4議案の合計15議案、陳情1件を上程しました。

補正予算や条例、その他の議案、また陳情1件は、関係する各常任委員会に審査を付託しました。

## 一般質問の実施

12月13日の本会議では、一般質問が行われ、町政全般について7名が町長の考えを質しました。

## 各常任委員会開催

12月14日、総務文教常任委員会を開催し、委員会に付託された議案を審議しました。

また、12月15日に産建厚生常任委員会を開催し、委員会に付託さ

れた議案を審議しました。

## 本会議の開催

12月17日の本会議では、採決を行い、上程された15議案が原案どおり可決され、継続審査となっていた令和2年度南越前町各会計歳入歳出決算及び水道事業会計決算を認定しました。

また、追加議案として上程された南越前町教育委員の任命について同意しました。

福井県町村議会議長会より提出された陳情1件は採択とし、「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」を提出することにしました。

さらに、議員発議として「南越前町議会議員定数条例の一部改正」が提案され、議員定数が14人から12人に削減されました。

## 常任委員会報告

### ▼総務文教常任委員会

委員長 平泉 初男

今期定例会において、総務文教常任委員会に付託されました案件審査のため、12月14日に委員会を開催いたしました。

付託を受けました議案第82号「令和3年度南越前町一般会計補正予算(第5号)」のうち、本委員会に関わる事項及び、議案第90号「南越前町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について」並びに議案第94号「南越前町過疎地域持続的発展計画の策定について」の2議案につきまして関係理事者の出席を求めて、所管ごとに慎重に審査をいたしました。

採決の結果、各議案につきましては、いずれも原案のとおり認めることに決定いたしました。

### ▼産建厚生常任委員会

委員長 熊谷 良彦

今期定例会において、産建厚生常任委員会に付託されました案件審査のため、12月15日に委員会を開催いたしました。

付託を受けました議案第82号「令和3年度南越前町一般会計補正予算(第5号)」のうち、本委員会に関わる事項及び、議案第83号「令和3年度南越前町国民健康保険今庄診療所特別会計補正予算(第2号)」から、議案第89号「令和3年度南越前町水道事業会計補正予算(第2号)」までの補正予算に関する8議案、次に、議案第91号「南越前町国民健康保険条例の一部改正について」から議案第93号「公の施設の指定管理者の指定について」までの3議案及び議案第95号並びに議案第96号「財産の取得について」の2議案につきまして、関係理事者の出席を求めて、所管ごとに慎重に審査をいたしました。

採決の結果、各議案につきましては、いずれも原案のとおり認めることに決定いたしました。

## 特別委員会報告

### ▼決算特別委員会報告

委員長 加藤 伊平

令和3年9月議会定例会で付託を受けた、議案第71号「令和2年度南越前町各会計歳入歳出決算認定」及び、議案第72号「令和2年度南越前町水道事業会計決算認定」に係る審査のため、10月11日から11月18日までの期間中の5日間、所管ごとに説明者の出席を求めて慎重に審査し、原案のとおり承認することに決定しました。

また、審査の過程で特に審議し、改善策などを求めた事項を報告し

ます。

**指摘1** 最近、町内において交通死亡事故が発生していますが、交通危険箇所については、地元意見を十分に引き上げて現地を確認、点検し、公安委員会、道路管理者などとの協議を図り、今後の事故対策を早期に図っていただきたい。

**回答** 交通死亡事故発生から数日後に越前警察署や丹南土木事務所などの関係機関と地元区長や交通指導員会などの関係団体とともに、事故現場で再発防止に向け協議し、区画線の新設や停止線の変更などを年内に整備することとしました。

また、交通安全に対する意識を一層高めるために広報紙や音声告知放送を活用し啓蒙することも、通学路などにおける街頭指導に取り組んでいます。

**指摘2** コロナ禍で、温泉施設、宿泊施設などの時短や休館等の処置を講じられ、PRが難しくなったと思うが、アフターコロナに向けて施設の魅力を町内だけでなく近隣市町、県内外に対しPRを行っていただきたい。

併せて、今年度に選定等をされた重要伝統的建造物群保存地区、文化的景観地区、日本遺産につい

ても「南えちぜん山海里」と連携する情報を県内、県外に対して発信していただきたい。

また、イベントについては、従来の内容での復活は困難と思われるので、来年度以降については、実施団体や地元住民などの意見を組み入れて、改めて実施内容の検討をされたい。

**回答** 町内温泉施設、宿泊施設につきましては、観光情報発信や地域内観光資源への誘客の拠点となる道の駅「南えちぜん山海里」を有効に活用し、利用者に広くPRし、また足を向けてもらえるような企画を実施し、利用促進に努めてまいります。

今庄宿の重要伝統的建造物群保存地区、糠の重要な文化的景観、北前船主通りや旧北陸線トンネル群など日本遺産についても、同様に道の駅「南えちぜん山海里」の観光案内スペースを有効活用し、観光連盟とも連携を図りながら、積極的に情報発信してまいります。来年度以降のイベントについては、新年度予算編成前に関係団体との協議の場を設け、意見を十分に取り入れた上で、ウィズコロナ、アフターコロナを念頭においた実

施方法やあり方等について検討してまいります。

**指摘3** 将来的な人口推移及び住宅施策を踏まえ、今庄地区の農業集落排水施設の統合、南条地区の農業集落排水施設と下水施設の統合により、町民の生活環境向上のための将来計画を早期に策定していただきたい。



南条下水処理場の視察

**回答** 町内の各地区には農業集落排水処理施設が13施設あり、いずれも老朽化が進んでいるため、施設および設備の更新や統合を検討する必要があります。

そこで、今年度に施設の統合を踏まえた農業集落排水施設再編計画を策定中であり、人口推移や住

宅政策などを基にした再編計画を検討していきます。

**指摘4** 障害児などに対するケアマネジャーの設置については、他市町の施設によるサテライト施設を検討しているとのことだが、将来的には有資格者の育成など本町独自の支援体制づくりが図られるよう検討をお願いしたい。

**回答** 本町においては、障害児相談支援事業所や放課後等デイサービスの提供事業所はなく、他市町の事業所に委託している現状です。障害児福祉サービスの利用者は増加傾向にあることや、保護者等の就労支援の観点からも、関係機関と本町独自の支援体制づくりの構築に向けた協議を進めていくこととします。

**指摘5** 農地中間管理機構、越前たけふ農業公社による農地集積により、担い手農家に利用権設定を行っているが、受け手により雑草や病害虫防除が行われない農地が見受けられるので、今後これら関係機関と協力して、適正な管理が行われるよう強い指導を行っていただきたい。

**回答** 町内の複数集落において、営農組織が利用権設定により大規

模な耕作を行っています。水管理や雑草の処理をはじめ、圃場管理が不適切との声が出ています。農地の適正管理を図るため、県農地中間管理機構をはじめとする関係機関と連携しながら、営農組織に対して直接指導を行っています。

### ▼自然保護並びに環境保全 対策特別委員会報告

委員長 城野 庄一

11月24日、再生可能エネルギーについての研修ということで、今回、コロナ禍の中でしたので、県



三国風力発電所の視察

外の施設の視察は難しく、本町で計画されている施設と比べると規模は小さいですが北陸電力(株)の風力発電所及び太陽光発電所の視察を実施いたしました。三国風力発電所の現地において、北陸電力(株)から概要の説明を受けたのち、三国太陽光発電所PR館において、再生可能エネルギーの現状と風力発電、太陽光発電などについて説明を受けました。



三国太陽光発電所PR館の視察

各委員からは、風力発電に関する事だけでなく再生可能エネルギーについての質問など活発な質疑応答が行なわれ、有意義な研修となったものと思っております。

当委員会としては、今後の国の再生可能エネルギー施策方針、環境影響調査の結果や地元をはじめとした地域住民の意向や地域の文化を考慮しながら、現在計画されている事業者に対し、随時、丁寧な説明を求め、議会として、安全で安心のできる施設、自然環境に対する負荷の軽減などを検討して判断をしております。



三国太陽光発電所

### ▼原子力安全対策特別委員会 報告

委員長 大浦 和博

12月7日、関西電力(株)美浜原子

力発電所並びに日本原子力発電(株)美浜原子力緊急事態支援センターにおいて、原子力安全対策特別委員会の視察を実施いたしました。



美浜原子力PRセンターの視察

午前中、関西電力(株)から美浜原子力発電所の概要についての説明があり、40年以上経過した原子力発電所として、再稼働を行う上で災害などへの対策内容や対応について、施設内を回りながら説明を受けました。

美浜原子力発電所再稼働に伴う災害対応として、国から示された施設等の整備や災害発生時に対する緊急措置及び他の電力会社から





美浜原子力緊急事態支援センターの視察

の応援体制の整備など、福島原発事故を教訓とした体制づくりに向け、災害等に対し速やかな対応が図れるよう訓練等も行っているとのことでした。

午後からは、日本原子力発電株式会社より美浜原子力緊急事態支援センターの概要について説明を受けました。

その後、災害等において原子力建屋などの状況を確認するための遠隔操作ロボットなど、各種機器の実演等を見学させていただきました。

また、センターにおいて災害対応資機材の操作訓練なども行い、従事する職員の対応能力向上を図っているとのことでした。

速やかに対応し、被害を最小限に抑えるよう対策や対応をされていることが伺えました。

当委員会では、原子力発電所の準立地の立場から、事業者に対して随時説明を求めながら、町民の安心、安全の確保に努めてまいりたいと考えております。

### ▼新幹線・並行在来線特別委員会報告

委員長 加藤 伊平

12月10日に委員会を開催し、福井県並行在来線経営計画の概要や財政負担などについて、担当課から説明を受けました。

議員からは在来線の利用客増加を推進するため、大人だけでなく子供たちの利用も促進できる施策の検討や観光列車など誘客を図る施策の検討などの意見が出されました。

当委員会としては、新幹線の工事進捗や並行在来線

会社の経営状況や各種施策などに  
対し、関係者から随時説明を求め、

事業の推移を適正に見極めてまい  
りたいと思います。

### 議員定数2人削減へ



12月17日の12月定例会最終日において、議員からの提案として、「南越前町議会議員定数条例の一部改正について」を上程しました。

この提案は、議員定数を14人から12人に削減する条例改正案です。

全国的に少子高齢化が進み、本町においても、国勢調査の確定値として人口が10,002人となりました。

このような中、近隣市町においても議員定数の見直しを検討されており、厳しい社会経済状況などと併せて、地区住民からの聞き取りにおいても議員定数に対する厳しいご意見がありました。行財政改革推進の一翼を担う議会として、議会議員定数を人口減少に見合った定数及び地域性も十分に考慮した定数と

し、率先して対応することで町民の要望に応えることが重要と考えております。議決機関として、議員定数の減少が機能の行使や責務の遂行の障害とならないよう、より一層の研鑽に努めながら、最少で最大の効果をあげ、より効率的な議会運営を図っていきたいとの理由により、提案者として喜村喜代治議員、賛成者として高橋宏介議員、熊谷良彦議員により提案がされました。

本会議において、反対討論を山本優議員、賛成討論を山本徹郎議員が行った後、採決により、議長を除く13名中12名の賛成で可決をいたしました。

今回の条例改正に伴う議員定数は、今年4月執行の南越前町議会議員選挙から適用されることになりました。

# 一般質問



喜村喜代治

## 米価の下落に伴う町の支援策について

**問** 新型コロナウイルス感染症の影響により、外食産業の消費需要が落ち込み、コメの価格が大幅に下落した。規模拡大を図るため、機械の導入や設備投資を行った担い手農家や集落営農組織等は借入金返済も抱えており、特に大規模に経営している農家ほど下落の影響は大きく、厳しい状況にある。

水田は稲を作付けして管理することにより、豪雨時に一時的に水を溜めるダム機能を保持しており、防災の一翼を担い、国土保全の役割も果たしている。

現状の価格が続くようであれば、経営が成り立たず、農業への魅力もなくなり、後継者も出てこないのではと思われる。このような厳しい状況に、町は支援策をどのように考えているのか。

**答** 町長 米価の下落は担い手農家にとって、農業経営の根幹を揺るがす深刻な事態であると受け止めています。このような状況を受け、県では、令和4年産米への収入保険の保険料に対して、3分の1補助することを決定し、町においても、12月議会で保険料の6分の1を補助するための補正予算を計上しました。

今後も農業者の生産意欲が減退しないよう、また新たな耕作放棄地が発生しないよう、米価の下落状況を注視しながら新たな対策を検討していきます。

**答** 農林水産課長 町では中山間地の農地保全を目的に中山間地等直接支払交付金の活用や中山間地域保全事業などの対策を講じています。一方で、安定した米価を保つために、主食米の作付面積が超過しない、転作面積を守る取り組みが必要であり、

今後農家組合長会議や営農座談会等を通して担い手農家の皆さんに周知したいと考えています。



コンバインでの稲刈り作業



加藤伊平

## 一、並行在来線開業による今庄南条駐車場の無料化について

**問** 町内4駅駐車場の内、南条駅今庄駅は有料。町の同じ駐車場でも有料と無料では町民にとって不公平。無料にし利用者の負担を軽減し利用促進を図ったかどうか。

**答** 町長 4駅駐車場の経緯も踏まえ、並行在来線の利用促進に向け、通勤通学に電車を利用される住民の方々の公平性の確保という観点と併せ、駐車料金の取り扱いは、並行在来線開業に向け議論を深めてまいります。

## 二、南条駅前広場の拡充について

**問** 南条駅前広場は狭く、通勤通学者や観光客に危険で不便。町の総合計画では「南条駅前広場の整備し通勤通学時の流れを改善し、乗降客の安全性の向上を図る」とあるが、開業まで2年近くになり今後どう進めるのか。

**答** 観光まちづくり課長 南条駅は、駅舎の一部と南側駐車場がJRの財産であることから、駅周辺の整備や駅舎の改修の計画については、並行在来線会社がJRから資産譲渡を受けてからの事業着手となります。今後は、事業着手前に関係機関のご意見をいただきながら、既存駅のモデルチェンジや駅周辺の賑わいづくりなど「駅を中心としたまちづくり」を施策に反映し、早期に事業効果を創出できるような取り組みを組んでいきます。



南条駅前広場

## 三、南条駅への快速列車の停車について

**問** 片道4本新設される快速列車は乗車人員の最も多い「南条駅」へ停車すると思うが如何か。

**答** 町長 今後、住民の皆様の実便性を十分考慮しながら、決定していききたいと考えております。



平谷弘子

一、本町の住宅政策について

**問** 土地の分譲と町営住宅などの若い世代が住みやすい施策は、継続性をもって実施するようお願いしたいが、町長の考えを伺う。

**答** 町長 平成26年度からの8年間で、東大道団地、桜町団地、栄団地、堂の下団地、北府団地に合計39区画、また丸山団地とわきあいあい団地の定住化促進住宅、きとつけハウス今庄、桜町団地の定住化促進住宅、甲斐城定住化促進住宅、東大道住宅、東大道単身者住宅に30戸を整備し、そのほとんどに若い世代が定住しておりま

す。さらに令和4年3月には、第2期東大道団地に10区画の分譲地を販売予定です。  
一方、住宅に対する助成制度として、町分譲地を購入した方に対し分譲価格の最大4割の助成や、町内に新築した場合の50万円の助成、また町内建設業者が建築した場合の30万円の助成を実施して

り、分譲価格の4割助成は5年間で26件、新築に対する助成は43件、町内建設業者が建築した場合の助成は23件交付するなど、高い効果と実績を上げています。

今後、分譲地や町営住宅の整備に加え、住宅に対する助成制度は連続して実施していく必要があることから、来年度以降も継続して計画的に実施していきます。

**問** 王子根団地は15年以上たっても売れていない現実を考慮し、販売単価の見直しなどさらなる対策が必要であると考えますが、いかがか。

**答** 建設整備課長 王子根団地につきましては、全6区画のうち、平成16年に1区画、平成22年に1区画を販売して以降11年間は販売実績がありません。現在は、当初からは安く見直した単価で販売していますが、今後は改めて分譲価格の見直しを検討するとともに、広く周知するなど販売促進に努めます。



高橋宏介

町内で開催された「イマジョー トレイル2021」について

**問** 昨年の9月に「イマジョー トレイル2021」が町内の有志の方たちで開催された。今後、町はどのように協力していくのか。

**答** 教育長 トレイルランはコースの設定の難しさや、山道を走る危険、特に天候による危険等もあると大会関係者から聞き及んでおります。また、十分に知識や経験を持った参加者であっても、今回コースを間違えたランナーやアクシデントに遭ったランナーがいることから、大会運営についてはトレイルラン協会及びサトヤマWORKSなどの知識が十分に備わっている団体が実施することや、ランナーの安心安全につながると感じております。今後、トレイルラン協会及びサトヤマWORKSから引き続き大会開催依頼があれば、地元地区との調整をはじめ、ランナーに対しておもてなし

の気持ちで協力・支援を行って参ります。

**答** 観光まちづくり課長 7月に主催者より、町内での開催に合わせた公共施設の使用などに関しまして、ご相談をいただきました。コロナ対策を万全に取ったうえで実施されるということでしたので、応援できることは協力していくこととして、今庄365スキー場の使用や、やすらぎ温泉の優待利用などに協力させていただきました。また、サトヤマWORKSや地元有志の方たちからお礼の言葉をいただきました。来年の開催についても計画されているとのことですので、町内の歴史や文化、自然、食などの魅力ある観光資源を参加者の方に広く知っていただける好機ととらえ、公共施設の利用協力や観光PRなどに積極的に取り組んで参ります。

**答** 建設整備課長 トレイルランの町内開催の際には、大きな集客力と発信力を持つ道の駅「南えちぜん山海里」や隣接する公園を有効利用いただけるよう指定管理者をはじめとする関係機関と調整・協議し、積極的に取り組んで参ります。





山本徹郎

一、オクトーバー・ラン & ウォークについて

**問** 町民にとってメリットの大きな施策の企画・実施について

**答** 町長 約2年近くコロナ禍の影響で、スポーツ活動を始めるような様々な活動が長期的に制限を余儀なくされております。これにより、町民の健康増進に大きな影響を及ぼしています。今後は感染対策を施しながらスポーツ活動を行うて参ります。

**答** 教育長 県が10月の1ヶ月間、一般財団法人オールビーススポーツ財団と共同で、「オクトーバー・ラン&ウォーク」を開催しました。延べ約14万人が参加し、記録を競う相乗効果に繋がったと感じています。当町におきましても161名の住民が参加し県内で10位ではありましたが、町民の皆様からは引き続き来年も継続してほしいという声が出ております。今後、主催者と協議を進めながら、

当町独自の大会開催を模索していきます。

**問** 町民の健康増進を促進させる為の年間を通じた取組について

**答** 教育長 車中心社会の町民においては、歩く習慣がなく、コロナ禍も重なった影響で歩行の機会も減っております。今後も、同大会に参加するとともに、当町独自の大会開催を模索してまいります。また、当町職員が発案したイベントである「QR探検ウォークラリー」に関しては、当初予算への計上を検討しています。このイベントは、所定のコースにQRコードを設置し、歩きながらアプリを使ってQRスタンプを見つけ出すものです。今ほど申し上げた両イベントは、期間を定めて開催いたしますが、歩行を楽しむ機会を設定することで町民の健康増進に努めてまいります。



熊谷良彦

森林環境税の使途及び(仮称)鯖波大橋新設について

**問** 令和6年度からの森林環境税の有効活用計画について伺う。

**答** 町長 森林環境譲与税については、令和元年度からそれぞれの自治体に譲与が開始され、譲与税額は、令和元年度が約1,200万円、令和2年度と今年度が約2,700万円です。県下有数の森林面積を有する南越前町では、森林境界の明確化事業や間伐材搬出促進事業を始めとする林業振興並びに森林資源の確保に資する事業に取り組みと共に、基金として一部を積み立てしております。

令和6年度からの森林環境税導入後の有効活用については、現在実施中の事業を加速すると共に、県産材を活用した公共施設整備や木質製品の導入など早期の計画活用に向けて取り組んで参ります。

**答** 農林水産課長 適切な森林整備などを進めるために、山際の

非農地となった山林など小規模な森林整備が森林環境税の主目的ですが、有効活用の例として集落センターの新築、増改築時に県産材を使用する取り組みや、学校机、学校給食用の木製品食器類の整備等が考えられます。今後とも関係機関と連携を図りながら森林環境税の有効活用に取り組みます。

**問** 鯖波大橋新設の見通しを伺う。

**答** 町長 (仮称)鯖波大橋は国道305号鯖波跨線橋から国道365号に接続し、南条スマートICに直接アクセスする一級河川日野川に掛ける町道橋であります。この橋の新設によりまして、中京関西圏の観光客を越前海岸へ誘致することや災害発生時に広域避難するための最短ルートとしての機能及びエコグリーンセンター南越へのパッカー車等の搬入路としての機能が期待されます。

事業期間は約9年を想定しておりますが、令和3年10月に策定された「福井県道路整備プログラム」にも掲載されたところから、1年でも早い完成を目指して国土交通省をはじめ福井県に対して強く要望活動を実施してまいります。



山本 優

一、国勢調査と人口対策について

**問** 国勢調査によると当町の人口は、10,002人で、維持目標の1万人を切るのは2024年より早くなる可能性がある。17年の合併から現在までの人口の変動、特に人口構成で子供の数が少なく今後について不安があり、婚姻と出産の現状と対策について伺う。

**答** 町長 死亡数が出生数を、転出者が転入者を上回る事で減少が進んでいます。また非婚、晩婚化が進み、子供も少なくなっています。町は、安心して子育ての出来る住宅、企業誘致で働く場を作る政策を今後も進めたいと考えています。

**答** 町民税務課長 住民基本台帳では合併時12,909人以来2,806人、直近3年は毎年200人前後の減少、出生数は合併当時、90人前後であったものがここ数年は60人前後と大きく減少

しています。

**答** 保健福祉課長 結婚した方に結婚祝い金を贈呈しています。また、早婚夫婦に対する支援も計画しています。出産に関しては、特定不妊治療費助成を拡充するとともに、出産後も各種施策実施しております。

二、ラジオ難聴の対策について

**問** 大規模災害の発生時には、適時適切に情報は、大切で、ラジオ受信困難箇所の町民への広報活動について、またスマホの役割は大切で、活用推進策について伺う。

**答** 町長 ラジオの受信困難箇所の解消については北陸通信局などへ働きかけていきます。

**答** 総務課長 災害等の町民への広報活動については、告知放送や携帯事業者による緊急速報工リメールや、インターネット、町広報車巡回など多様な方法を活用し、迅速な発信に取り組みます。避難所へのWi-Fiの接続環境の整備を進めています。



南越前町議会の主な活動報告

- 11月5日 県後期高齢者医療広域連合会定例会が自治会館で開催され、議長が出席
- 11月9日 北陸新幹線建設促進同盟会総会が明治記念館で開催され、議長が出席
- 11月14日 南越消防組合総合訓練がリトリートたくらで開催され、正副議長のほか組合議員3名が出席



南越前町消防組合総合訓練

- 11月18日 町道脇本上平吹線上平吹橋開通式典が南条保健福祉センターで開催され、正副議長ほか11名が出席
- 11月19日 森林・林業・木材活性化大会が福井商工会議所で開催され、議長が出席
- 11月24日 自然保護並びに環境保全対策特別委員会「三国風力発電所視察研修」を実施し、全議員が参加
- 11月25日 福井県原子力発電所準立地市町連絡協議会による中央要請が全国議員会館で行われ、議長が参加
- 12月1日 ほのぼの苑事例発表会が南条保健福祉センターで開催され、議長が出席
- 12月7日 原子力対策特別委員会「美浜原子力発電所視察研修」を実施し、全議員が参加
- 1月9日 令和4年成人式が南条文化会館で開催され、議長のほか10名が出席
- 1月10日 南越前消防団出初式が南条文化会館で開催され、議長のほか組合議員3名が出席
- 1月11日 県町村議会議長会による県知事との懇談会が開催され、議長が出席



●1月14日 南越前町交通安全祈願祭が熊野神社で開催され、副議長が出席



南越前町交通安全祈願祭

【11月から2月の主な委員会  
全員協議会

11月21日  
11月30日、12月10日、16日、17日、  
2月2日  
議会運営委員会  
11月12日、12月3日、16日、  
2月2日  
広報特別委員会  
12月8日、1月14日、26日  
決算特別委員会  
11月18日

臨時会報告

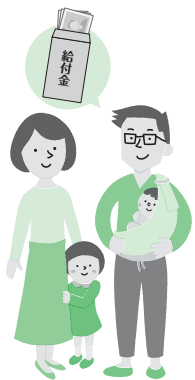
11月臨時会

11月臨時会が11月30日に開催され、議案第82号として財産の取得（スクールバス2台）に関する議案1議案を上程し、原案のとおり可決しました。

また、報告第8号として、交通事故による損害賠償の額の決定に関する専決処分事項の報告がありました。

1月臨時会

1月臨時会が1月21日に開催され、議案第1号として18歳以下の子どもをもつ世帯に給付される「子育て世帯への臨時特別給付金」などにかかる令和3年度南越前町一般会計補正予算（第6号）を上程し、原案のとおり可決しました。



祝 上平吹橋完成

11月18日に町道脇本上平吹線 上平吹橋の開通式が行われました。

南条保健福祉センターにおいて関係者をはじめ、正副議長、議員が出席して神事及び式典を行ったのち、新しく完成した上平吹橋に移動して、テープカットなどを行い、南越消防組合音楽隊を先頭に南条こども園の園児や地元住民の方とともに渡り初めをして開通式が終了しました。今までの橋は道幅が狭く、歩



上平吹橋交通安全祈願祭

道もなく、通勤、通学や橋を利用する地域住民にとって、通行に支障をきたしていました。

新しい上平吹橋は、幅員8.5m、長さは158.7mとなっており、平成27年度に建設工事に着手してから7年の歳月を経て完成しましたが、地域住民をはじめ、県道や国道を利用して日野川の東西への行き来をする利用者にとってもこの橋の完成は悲願でありました。

この橋の完成によって、通勤、通学及び地域住民の利便性が向上し、周辺道路環境の改善が進むことを期待いたしております。



上平吹橋開通式テープカット



## 南越前町にトライ!!

今回は、河野地区に1か月滞在し、主な職場の方々との対話や職場体験に取り組んだ大学生 菊川翔太さんにお話をお聞きしました。

こんにちは。京都大学4年の菊川翔太と申します。私は南越前町の「まちみらいチャレンジ」という取り組みに参加しています。まちみらいチャレンジとは、学生が南越前町を舞台に約半年間の期間で主体的にチャレンジする取り組みです。



南越前町に滞在中の菊川さん

3つ目は、今庄中学校の剣道部の練習に参加し、週に3回中学生に交じて剣道をしました。私は大学まで14年間剣道を続けており、今回の練習の参加を通じて、将来は地域の子どもたちに剣道を教えたいと思うようになりました。

私は残りの大学生活を南越前町を舞台にチャレンジしたいと思っただけで参加しました。私は11月中旬から1か月間、河野に滞在し大きく3つのことに取り組みました。1つ目は、河野の漁師さんや旅館の女将さんなど15名の方にお話をお伺いし、卒業論文としてまとめました。地域への愛着やお仕事の苦労を教えてくださいました。

2つ目は、河野の旅館でカニ料理の配膳などをアルバイトとしてお手伝いしました。旅館のお仕事の大変さと楽しさを味わいエネルギーをもらいました。



旅館での職場体験

1か月の滞在を通じて、南越前町の深い歴史、豊かな自然、温かい人はここにしかない魅力だと感じました。これからもそうした魅力をもっと味わい、交流し、友達や身近な人に伝えていきたいです。



今庄中学校剣道部の練習に参加

## 編集後記

▼長引くコロナのため感染予防対策を実施しての編集作業でありましたが、予定通り「議会だより」お届けいたします。今後とも内容充実に努力していきます。

▼待ち望んでいた「道の駅」が11月にオープンして3か月、連日、高速利用者も一般道路からの利用者も予想以上の来場者数に、関係者一同驚いています。地の利だけでなく関係者の努力の賜物であり、心から感謝したいと思います。これからもこの施設が地域の農林水産業や観光業の進展に果たす役割を期待しています。

▼もう一つ長年の懸案となっていた議員定数の見直しは12月議会提案され、賛否両論がありましたが、今年4月実施予定の選挙から適用されることとなりました。

当選された皆さまには、町発展と町民の安全・安心のため頑張ってくださいと思います。

(山本)